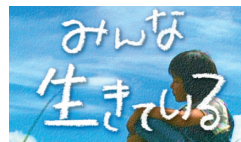


生き方 小学校



小学校

道徳

総合

みんな生きています

🕒 15分

いっしょにがんばるよ (2005年放送)

この番組の良さ



病気を持ってもみんなと同じ生活をしたい!

鈴木優太くんは、小学校2年生。外見からは他の子とまったく違いませんが、実はアトピー性皮膚炎を患っています。しかし、優太くんは他の子どもたちと同じように生活を送っています。それはどうしてそういう生活が送れるのでしょうか？

見えないところでの努力を知る

優太くんのお母さんは、毎日、早朝に起床しています。優太くんのためのお弁当づくりがあるからです。アトピー性皮膚炎の優太くんは給食を食べることができません。優太くんのために、給食と同じ食材を使ったメニューのお弁当を毎日作って持たせています。優太くんが何気なく普通に生活している裏には、このような、本人や周りの人の努力や目に見えない苦労があることがわかります。この番組を通して、ハンディのある子を理解し、いたわりの気持ちを持つことができます。

番組活用のポイント

いつもの、どこにでもある学校風景

番組は、どこにでもあるような学校の生活風景からスタートします。この学校と番組を視聴している子ども達との学校はほとんど差がないはずです。そこで、一人の子をピックアップします。「鈴木優太くん」小学校2年生。給食の場面までは、まったく他の学級とかわらない生活場面が、給食のところから問題提起の場面となります。

えっ?なぜお弁当?

給食の場面で、アナウンサーの語りで優太くんが「アトピー性皮膚炎」であることを告げます。そして、アトピー性皮膚炎だと卵や鶏肉・魚などを食べると、肌に湿疹が出るために食べることができないことを視聴した子どもたちは知ります。

みんなと一緒に生活するために

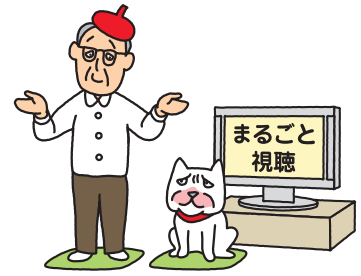
優太くんは、元気な男の子です。アトピー性皮膚炎という病気をのぞけば、他の子と全く違うところはありません。その優太くんはまだ2年生です。湿疹が出て身体がかゆくならないように、お母さんは毎朝4時30分に起きて優太くんのお弁当を作ります。また、起きた優太くんを登校前にお風呂で身体をきれいに洗います。そうしないと湿疹が出るからです。優太くんが学校に行っても、お母さんは、優太くんの布団のゴミやホコリを隅々まで掃除機で吸い取ります。食べ物も優太くんに食べられないものがたくさんあります。まだ2年生の優太くんにとっては、アトピー性皮膚炎は一人では、乗り越えられないのです。

こういった優太くんとお母さんのがんばりの上に、毎日、他の子と同じように過ごすことができる子がいることをこの番組を通して知ることができます。友達関係を考える内容として、『ボクとともだちになって』(P.20)・『クラスメートは64才』(P.22)もご活用ください。

(加藤悦雄)

学習展開例 授業時間 45分

みんなちがってみんないい 一人ひとりあたりまえ



時間配分	学習活動	教師の支援
8分	①元気でいることについてもう一度見直す。	<ul style="list-style-type: none"> ○「元気とはどういうときか。」「元気であるとどんないいことがあるか。」などと問い、これまでの自分が元気であったことを意識付ける。 ○クラスに障がいのある子がいる場合は、その子に配慮した発問をする。
25分	②番組「いっしょにがんばるよ」を視聴する。 <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="width: 45%;">  <p>・タイトル画面で、一時停止する。 (開始～1分00秒)</p> </div> <div style="width: 45%;">  <p>・「4時間目は音楽の授業、そろそろお腹が空いてきました」のアナウンスのところで止める。 (1分00秒～1分29秒)</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="width: 45%;">  <p>・優太くんの1日を視聴する。 (1分29秒～11分17秒)</p> </div> <div style="width: 45%;">  <p>・最後まで視聴させる。 お母さんと関わり合う場面。 (11分17秒～終わり)</p> </div> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ○番組に集中できるよう、メモはとらないようにする。 ○タイトル画面(1分00秒)で、一時停止し、「いっしょにがんばるよ」という言葉からどういう展開かを考えさせておく。 ○冒頭部分では、他の子どもたちとまったく同じ学校生活を送る優太くんが描かれている。しかし、給食では、なぜかお弁当を持ってくる優太くんから、番組は優太くんはアトピー性皮膚炎だという事実が明らかにされる。 ○優太くんが他の子どもたちと同じように生活するには、お母さんの隠れた苦勞があることを知る。それは優太くん本人もお母さんもたいへんな負担であることに気付かせていく。 ○優太くんは、買い物の時も自分が食べてはいけないものなどを自分で知るようになっていることを知る。 ○カレーパンが食べたい優太くんのために、優太くんとお母さんで手作りのカレーパンを作る様子から一つの食べ物にも気を使っていることを知る。
8分	③番組を見ての感想をもとに、優太くんとお母さんの関わり合いについて話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> ○優太くんが自分のクラスにいたら、自分は何ができるかを考える。 ○優太くんが本人の努力や周りの人の支えで、みんなと同じように生活できていることを押さえる。
4分	④今日のまとめを書く。	<ul style="list-style-type: none"> ○今日の学習で自分は何ができるかをノートに書いて、まとめとして交流する。